

日本発ドイツ便り:ケルンに里帰り

ケルンに里帰りしてきました。2年ぶりのケルンです。『家庭訪問』というか、ドイツ滞在時にお世話になった方を訪ねたり、友人に会ったり、が目的です。7月というと、うっかり時期を外すとみんな「1カ月の休暇」で留守にしていたりするのですが、うまく皆に会う事ができました。

1日で3件という忙しい日程になってしまいましたが……。なんだか「ドイツ流おもてなし」でお腹いっぱいの日になってしまいました。

朝一番に、私が一番最初のドイツ滞在のとき(思えば阪神大震災の後でした。そのころドイツ語といや、簡単なあいさつくらいしかできなかったんですよ…) お世話になった方に「今ケルンやねん。今日は忙しいから、明日会いに行っていない？」と電話すると、「明日は山登り友達の誕生日パーティーだから、今日いますぐ来るがよろし。」といわれて、行き方を聞いていってきました。ちなみに80歳のおじいさんです。



ボン行きの路面電車によって、ライン河沿いをいったところにある住宅地でした。ドイツの街並みって、やっぱり「整然と」していますね～。こんな建物で、裏には意外に広いお庭があったりします。ドイツのお家に最初に招かれたとき、まずは「お家一周ツアー」の儀式があります。ここが居間、寝室、キッチン、バルコニー、地下室、お庭と一通り案内してもらいました。「いい天気だからベランダでコーヒーでも」とコーヒーを飲みながらおしゃべり。途中山歩き友達から電話がかかってきたようで、「今から森に散歩に誘われたけど、一緒にいくか？」と魅力的なお誘い。でも本当に残念ながら、次の予定が…。と断り。今度は絶対いっからね！と約束して次の予定の場所へ。

そしてお昼は年上の友達とランチ。彼女はケルンテレビ局 WDR (ヴェー・デー・エル、ドイツのNHKのような感じ)のためにニュースというか特集番組を作っている人です。以前に彼女のプロジェクトで日本の企業の発明を採りあげた際に、お手伝いして以来の付き合いです。(今年の3月にその番組が放映されました。)とてもいい天気だったので、「こんなにいい天気なんだから、今日はもちろん外で食事しましょう！」と市内にある「市民公園」へ。(こんなところがあるの、知りませんでした…)「公園」といっても広いものでちょっとした森みたいですよ。



陽射しは強いですが、空気は乾いていて、大きな木の木陰はちょっと涼しくていい感じ。もちろん夏は Biergarten (ビアガルテン:ビアガーデン) こんなところで、お食事とは、昼でも夜でも楽しそうじゃないですか？ドイツの Biergarten はドリンク(要はビール)だけ注文すれば食べ物は持ち込みできる場所もあります。(もちろん全部じゃなくて、「この一角」とか場所が決まっていることもあるようです。ここの公園、ちょっとしたホールやギャラリーもあって、夏の間は毎日のようにジャズの演奏なんかがあるようです。お食事後、「せっかく今の時期だから絶対いちごを食べてほしいの！」とデザートはイチゴの山盛り。



もうこの時点で、結構おなかいっぱいです…。次は 15:00 にお茶に呼ばれています…。着いた先は、ドイツ滞在中すごくお世話になったご家族。気分としては自分のおじいちゃんとおばあちゃんです。夫婦ともに 80 歳を超えています。家に着くと「庭にいます」の看板。家庭菜園(という言葉のイメージ以上に本格的な野菜農園)を抜けて、庭に出ると、お庭の芝生のリンゴの木の下にテーブルを出して、お茶の準備ができていました。「特製ケーキ焼いといたわよ」。と出てきたのはもちろん旬のイチゴがタップリのケーキ、そして淹れたてのコーヒーです。ケーキにはクリーム(生クリームを砂糖を入れずに泡立てたもの)をたっぷりつけて食べます。余ったクリームはコーヒーに入れて。おいしい！あとは近況報告したり、旅行の話をしたり…。

木陰で青い空をと太陽を見ながらお茶なり食事、もしくはサングラスをしてのんびり読書。これって、冬が長くて夏が短いドイツでは本当にみんなが心待ちにしている「夏の楽しみ」なのです。特に今年は夏の前半は雨が多くて寒かったそうで、待ちに待った太陽！！という感じだったようです。(だから、もし夏の暑い日にドイツ人に「外で食べましょう！」と誘われても、「こんな暑い日に！！！」とびっくりしないでくださいね。) ちなみに、ドイツにも蚊はちゃんといいますが、こうやって外でのんびりしていても刺されたことはないですね…。不思議です。

イチゴといい、外でのお食事といい、ドイツのおもてなしの真髄(?)は「旬のものでもてなす」でしょうかね？

18:00 ごろになると「そろそろ Abendbrot(アーベントブロート: 夕食)にしましょうか！」と…。食べられるかなあ…。と思いつつ、お皿を並べたりお手伝い。庭の畑で採れた野菜たっぷりのお料理だったので、喜んでいただきます。ところで、ドイツ人って、すごい量をすごい早さで平らげるんですよ…。私は日本でも食べるのが遅い方なので、ついていけません…。あんまり関係ないですが、「日本人の留学生がホームステイに来ると、学生は痩せて、家の人は太る」というジョークがあります。なぜかという、日本人って、「お代わりどうぞ」と勧められても一回目は断る、「そう言わずにどうぞ」と重ねて勧められて初めていただく、みたいな習慣があるじゃないですか??で、ドイツ人「もうちょっとどう？」日本人「あ、いいです」ドイツ人「あらそう?じゃもったいないから私が食べるわ」ってことになって、学生はちょっと足りなくて、痩せて、家の人はちょっと食べ過ぎで太る。ということなのです。断る=不要なので、2回目は勧めてくれません。ちょっとした文化の違いですかね？

結局デザートまで食べて食器を食器洗浄機に入れて、ニュースを見たり、おしゃべりしたり。

5年前に、この家にホームステイしていた当時とそのまんまで懐かしかったです。気がつけば外も暗くなって、もう22:00くらい。お二人には、「また帰ってくるから元気でいてね!」と言ってお別れしてきました。

今回2年ぶりでしたが、年に1回はケルンに帰らなきゃいけないなあ……。とそんな気分です。(できればカーニバルの時期に行きたいなあ…。)

大聖堂以外のケルンの街はまたそのうちに…。☺